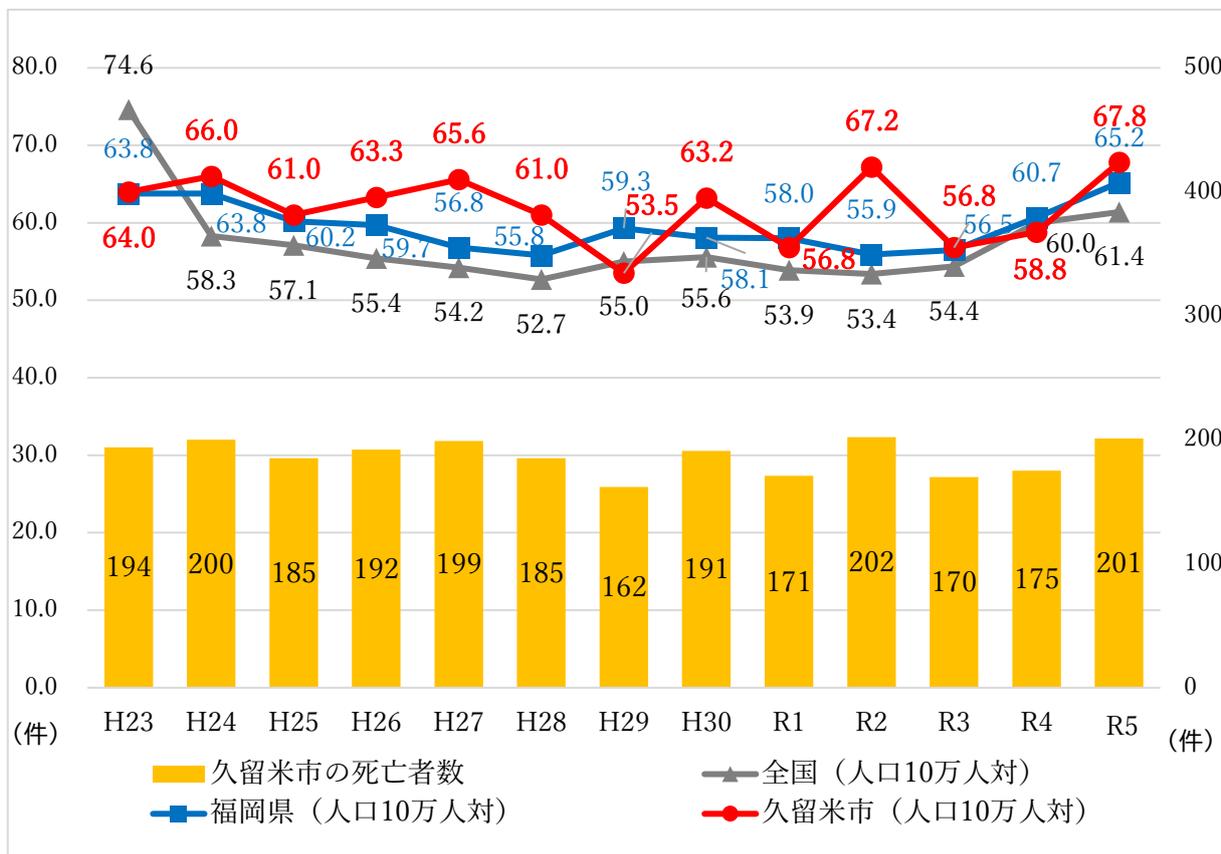


3 外的要因による死亡に関する状況

(1) 外的要因による死亡者数（人口動態統計）

久留米市の外的要因による死亡者数は、ほぼ横ばいで推移しています。

■[図 3-1]外的要因による死亡者数、及び人口 10 万人当たりの数の推移



(2) 年齢階級別の死亡原因上位（福岡県保健統計年報） ※病気等による死亡含む

外因及び病気等による死亡原因を年齢層ごとにみると、自殺が10歳代から30歳代までの死亡原因の1位、40歳代から50歳代では2位となっています。

■[図 3-2]H30～R4年の年齢階級別の死亡原因上位5位

※()内は人数

年齢層	1位	2位	3位	4位	5位
0～9歳	染色体異常等 (12)	周産期に発生した病態 (5) <u>不慮の事故 (5)</u> …窒息(2)、交通事故・転倒転落墜落・溺死溺水 (1) その他の症状 (5)			新生物〈腫瘍〉 (4)
10～19歳	自殺(15)	新生物〈腫瘍〉 (5)	神経系の疾患 (4)	<u>不慮の事故(3)</u> …交通事故(2)、転倒 転落墜落(1)	周産期に発生した 病態 (1)
20～29歳	自殺(27)	新生物〈腫瘍〉 (6) <u>不慮の事故(6)</u> …交通事故(6)		神経系の疾患 (5)	その他の症状(4)
30～39歳	自殺(33)	新生物〈腫瘍〉 (19)	<u>不慮の事故(8)</u>	その他の症状(6)	その他の外因(5)
40～49歳	新生物〈腫瘍〉 (109)	自殺(48)	脳血管疾患(19)	心疾患(15)	消化器系の疾患 (14)
50～59歳	新生物〈腫瘍〉 (241)	自殺(49)	心疾患(44)	消化器系の疾患 (40)	脳血管疾患(39)
60～69歳	新生物〈腫瘍〉 (737)	心疾患(87)	脳血管疾患(80)	消化器系の疾患 (69)	その他の症状 (62)
70～79歳	新生物〈腫瘍〉 (1,489)	心疾患(217)	脳血管疾患 (212)	その他の呼吸器 系疾患(186)	肺炎(143)
80～89歳	新生物〈腫瘍〉 (1,695)	心疾患(690)	脳血管疾患 (469)	その他の呼吸器 系疾患(458)	肺炎(358)
90歳以上	老衰(926)	心疾患(833)	新生物〈腫瘍〉 (712)	脳血管疾患 (368)	その他の呼吸器 系疾患(341)

(3) 死亡統計における不慮の事故等のデータ（人口動態統計）

①年齢層別 不慮の事故等による死亡の上位5位

10～69歳の自殺の件数は他の要因と比較して特に多い。

また、高齢になるほど溺死・溺水、転倒・転落、窒息による死亡が多い。

■[図 3-3]R1～R5年の不慮の事故等による死亡の上位5位 ※()内は人数

年齢層	1位	2位	3位	4位	5位
0～9歳	窒息(2)	交通事故(1)			
		転倒・転落(1)			
		溺死・溺水(1)			
10～19歳	自殺(10)	交通事故(1)			
		転倒・転落(1)			
20～29歳	自殺(30)	交通事故(5)			
30～39歳	自殺(34)	溺死・溺水(3)	交通事故(1)		窒息(1)
			転倒・転落(1)		煙・火(1)
40～49歳	自殺(51)	溺死・溺水(3)		交通事故(2)	
		窒息(3)		転倒・転落(2)	
				煙・火(2)	
				その他不慮の事故(2)	
50～59歳	自殺(56)	交通事故(5)	その他不慮の事故(4)	窒息(3)	溺死・溺水(2)
60～69歳	自殺(34)	溺死・溺水(16)	交通事故(8)		転倒・転落(5)
			窒息(8)		
70～79歳	溺死・溺水(59)	自殺(31)	窒息(15)	その他不慮の事故(14)	
				転倒・転落(14)	
80～89歳	溺死・溺水(85)	転倒・転落(39)	その他不慮の事故(33)	自殺(25)	窒息(24)
90歳以上	転倒・転落(44)	その他不慮の事故(34)	溺死・溺水(28)	窒息(23)	自殺(19)
合計	自殺(267)	溺死・溺水(198)	転倒・転落(116)	窒息(79)	
				その他不慮の事故(80)	

(前ページと比較)

過去の累計と比較すると、全体的に交通事故による死亡が減少している。

【平成 25 年認証申請書より】

■[図 3-4]H19～H23 年の不慮の事故等による死亡の上位 5 位

※()内は人数

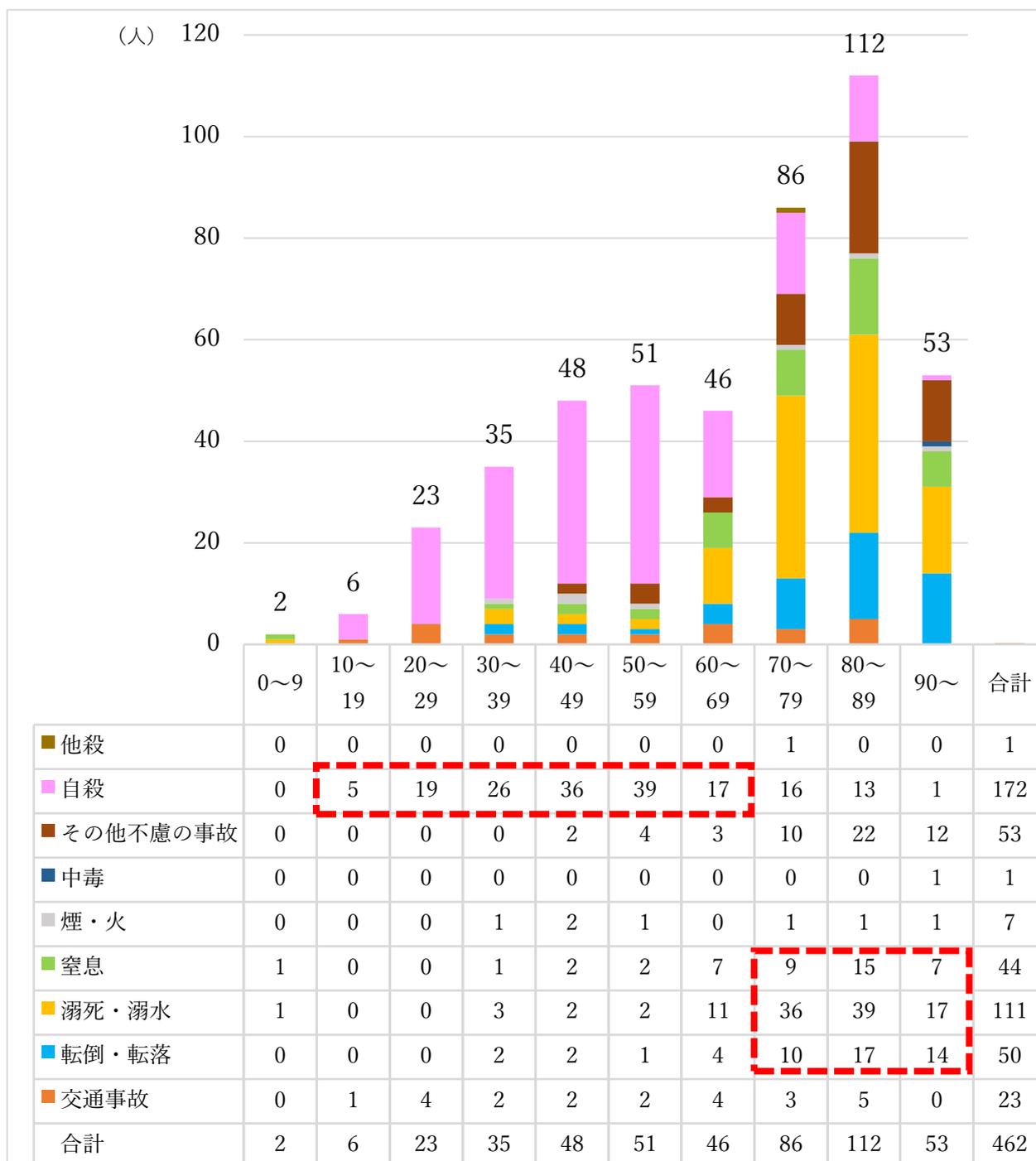
年齢層	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
0～9歳	溺死・溺水(2)	交通事故(1)			
10～19歳	自殺(8)	交通事故(5)	転倒・転落(1)		
20～29歳	自殺(38)	交通事故(7)	溺死・溺水(4)	煙・火(1)	
30～39歳	自殺(59)	交通事故(6)	中毒等(4)	転倒・転落(2)	他殺(1)
40～49歳	自殺(59)	交通事故(6)	中毒等(3)	溺死・溺水(2)	転倒・転落(1)
50～59歳	自殺(86)	交通事故(13)	溺死・溺水(4)	窒息(7)	その他不慮の事故 (6)
60～69歳	自殺(56)	溺死・溺水(14)	交通事故(12)	窒息(10)	転倒・転落(7)
70～79歳	溺死・溺水(44)	自殺(40)	窒息(26)	転倒・転落(25)	交通事故(17)
80～89歳	溺死・溺水(55)	窒息(22)	その他不慮の事故 (28)	転倒・転落(24)	自殺(21)
90歳以上	転倒・転落(23)	窒息(22)	溺死・溺水(11)	その他不慮の事故 (8)	交通事故(6)
合計	自殺(369)	溺死・溺水(143)	窒息(115)	転倒・転落(88)	交通事故(84)

② [男性] 不慮の事故、自殺による死亡数（人口動態統計）

80歳代の件数が最も多く、要因として溺死・溺水の件数が多い。

10～60歳代は自殺の件数が最も多く、70歳以上は、溺死・溺水、窒息、転倒・転落の件数が多くなる。

■[図 3-5] 男性の年齢層別の不慮の事故等による死亡数（R1～R5年の5年間累計）



③ [女性] 不慮の事故、自殺による死亡数（人口動態統計、R1～R5年の5年間の累計）

男性と同じく10～60歳代では自殺の件数が最も多く、70歳代以上では溺死・溺水、窒息、転倒・転落である。

なお、男性と比べ90歳以上では転倒・転落による死亡数が多い。

■[図3-6]女性の年齢層別の不慮の事故等による死亡数（R1～R5年の5年間累計）

